

Parallels® Server Compressor

Copyright © 1999-2008 by Parallels Software International, Inc. All rights reserved.

Parallels、*Coherence*、*Parallels Transporter*、*Parallels Compressor*、*Parallels Desktop*、および *Parallels Explorer* は、*Parallels Software International, Inc.* の登録商標です。*Parallels* ロゴは *Parallels Software International, Inc.* の商標です。

この製品は、複数の特許出願中の技術に基づいています。

この著作物またはこの著作物の二次著作物のあらゆる形式の頒布は、書面による許可を事前に著作権所有者から取得している場合を除き、禁止されます。

Microsoft、*Windows*、*Windows Server*、*Windows NT*、*Windows Vista*、および *MS-DOS* は、*Microsoft Corporation* の登録商標です。

Linux は *Linus Torvalds* の登録商標です。

Apple、*Bonjour*、*Finder*、*Mac*、*Macintosh*、および *Mac OS* は、*Apple Inc.* の登録商標です。

Solaris は *Sun Microsystems, Inc.* の登録商標です。

eComStation は *Serenity Systems International* の商標です。

FreeBSD は *The FreeBSD Foundation* の登録商標です。

Intel および *Intel Core* は、*Intel Corporation* の商標または登録商標です。

OS/2 Warp は *International Business Machines Corporation* の登録商標です。

VMware は *VMware, Inc.* の登録商標です。

本ガイドに記載したその他のマークおよび名前は、それぞれの所有者の商標である可能性があります。

目次

| | |
|--------------------------------------|-----------|
| イントロダクション | 4 |
| Parallels Compressor について | 5 |
| このガイドについて | 5 |
| このガイドの構成 | 6 |
| 表記規則 | 6 |
| ヘルプ一覧 | 7 |
| ご意見の送付先 | 8 |
| スタートアップ | 8 |
| Parallels Compressor のインストール | 8 |
| Parallels Compressor のアンインストール | 9 |
| ゲスト OS のシステム要件 | 9 |
| Parallels Compressor の操作 | 9 |
| 実行モード | 10 |
| 高速モードと詳細モード | 15 |
| 自動モードでの圧縮 | 16 |
| 論理ディスクの選択 | 18 |
| 圧縮レベル | 19 |
| ディスクのさらなる削減 | 20 |
| 索引 | 21 |

第 1 章

イントロダクション

この章では、Parallels Compressor の全般的な情報と提供するマニュアルについて説明します。

この章の構成

| | |
|--------------------------------|---|
| Parallels Compressor について..... | 5 |
| このガイドについて..... | 5 |
| ヘルプ一覧..... | 7 |
| ご意見の送付先..... | 8 |

Parallels Compressor について

Parallels Compressor® は、仮想マシンの多くの用途での効率を維持するために役立つ使いやすい Parallels ツールです。

注意:Parallels Compressor は、Boot Camp パーティションを使用する仮想マシンでは使用できません。[Parallels Compressor の実行] メニュー コマンドは無効になります。

Parallels Compressor を使用すると、以下を実行できます。

- 仮想マシンのディスク領域の効果的なクリーン・アップ
- 仮想ハード ディスク ファイルのサイズの大幅な削減
- 物理ハード ディスクのリソースの効率的な使用

警告:仮想マシンで アンドゥ ディスク オプションを有効にしている場合、またはスナップショットを保持している場合は、仮想マシンの圧縮を実行できません。また、すべてのディスクが容量固定フォーマットの仮想マシンでも、圧縮は利用できません。

それでもスナップショットを持つ仮想マシンの圧縮を希望する場合は、仮想マシンのディスクの圧縮を開始する前に、スナップショット マネージャですべてのスナップショットを削除してください。詳細については、スナップショットを作成したソフトウェアのマニュアルを参照してください。

アンドゥ ディスクを持つ仮想マシンを圧縮するには、まず、構成エディタで、アンドゥ ディスク機能を無効にします。詳細については、「アンドゥ ディスクを作成したソフトウェアのマニュアル」トピックを参照してください。

このガイドについて

このガイドは、仮想マシンの多くの用途での効率を維持するために Parallels Compressor を使用する幅広いユーザーを対象としています。

このガイドの構成

このガイドは、次の要素で構成されています。

- 「イントロダクション 『p. 4』」の章では、製品およびこのガイドについての基本的な情報について説明します。
- 「スタートアップ 『p. 8』」の章では、Parallels Compressor のインストールおよびアンインストールの方法について説明します。
- 「Parallels Image Tool の操作 『p. 9』」の章では、仮想マシンの多くの用途での効率を維持するために Parallels Compressor を使用する際のガイドラインを説明します。

表記規則

当ガイドをご使用いただく前に、文書内の表記上の規則をご理解くださいますようお願い致します。当ガイドで使用されている特別な用語については、巻末の用語集をご参照ください。

以下の表は現在のフォント規則です。

| 表記 | 意味 | 例 |
|-----------|--|--|
| 黒い三角形 (▶) | 順を追った手順。記載の指示に従うと、特定のタスクを完了できます | コンテナを作成するには以下を実行してください。 |
| 特殊太字 | メニュー オプション、コマンドボタン、リスト内の項目など、ユーザが選択する必要のある項目。 | [リソース] タブを開きます。 |
| | 章、セクション、サブセクションのタイトル。 | 「 基本管理 」の章をご覧ください。 |
| 斜体 | 初出用語または実際の名前や値に置き換えられるコマンドラインのプレースホルダーの指定など、重要な箇所を強調するために使用されます。 | これが <i>EZ</i> テンプレート と呼ばれているものです。 コンテナを破棄するには、 <code>vzctl destroy ctid</code> と入力してください。 |
| 固定幅フォント | コマンド、ファイル、ディレクトリの名前。 | コンテナを開始するには <code>vzctl start</code> を使用します。 |

| | | |
|------------|--|------------------------------------|
| 書式設定済みフォント | ユーザコマンドラインセッションでの画面上のコンピュータ出力、すなわち、XML や C++ やその他のプログラミング言語。 | Saved parameters for Container 101 |
| 固定幅太字 | 入力した文字をコンピュータ画面上の出力と区別 | # rpm -V virtuoizzo-release |
| アルファベット大文字 | キーボード上のキーの名前。 | SHIFT、CTRL、ALT |
| KEY+KEY | ユーザがあるキーを押しながら他のキーを押す必要がある組み合わせ。 | CTRL+P、ALT+F4 |

フォント規則以外に、Parallels 資料に適用されている文書の構成規則についてもご承知おきください。すべてのガイドの章はセクションに分かれており、それがさらにサブセクションに分かれています。例えば「**当ガイドについて**」はセクションであり、「**表記規則**」はサブセクションです。

ヘルプ一覧


Parallels Compressor では、必要な情報に複数の方法でアクセスできます。

- **Parallels 仮想マシン ガイド**。このドキュメントには、製品とその使用方法、およびトラブルシューティングについての詳しい情報が含まれています。このガイドは、以下のフォルダにあります。

Mac の場合: /Applications/Parallels/

Windows の場合 : C:\Program Files\Parallels\Parallels Desktop\Documentation\

Linux の場合: /usr/share/parallels-server/docs/

- **[ヘルプ] ボタン**。Image Tool ウィンドウの下部の  **[ヘルプ]** ボタンをクリックして、対応するヘルプ ページを開きます。
- **Parallels Web サイト** 『<http://www.parallels.com>』。製品のヘルプ ファイルおよび FAQ セクションが含まれているサポート Web ページを参照してください。

ご意見の送付先

当ガイドの表記ミスを見つけた場合や、当ガイドをより良いものにするアイデアがある方は、弊社までご連絡いただければ幸いです。

コメントの送信には、Parallels フォーラム『<http://forum.swsoft.com/forumdisplay.php?s=&forumid=239>』をご利用いただけます。

スタートアップ

メールによるコメントの送信は、sales@parallels.co.jp までお願い致します。コメント送信の際には、章、セクション、サブセクション名や該当部分の文章を提示して問題を特定しやすいようにしていただきますようお願い致します。

この章では、Parallels Compressor のインストールおよびアンインストールの方法について説明します。

Parallels Compressor のインストール

Parallels Compressor は、Parallels Server と共にインストールされ、同じフォルダに配置されます。

デフォルトでは、Parallels Compressor は、ホスト コンピュータ上の以下のフォルダにインストールされます:

- Mac ホストの場合: `/Library/Parallels/`
- Windows ホストの場合: `C:\Program Files\Parallels\Parallels Server\`
- Linux ホストの場合: `/usr/lib/parallels-server/`

Parallels Compressor のアンインストール

Parallels Compressor は、Parallels Server をアンインストールすると自動的にアンインストールされます。

ゲスト OS のシステム要件

Parallels Compressor は、次のゲスト オペレーティング システムをサポートしています。

- Windows Vista® Ultimate (x32、x64)
- Windows Server 2008 (x32、x64)
- Windows Server® 2003 Standard Edition SP0、SP1、SP2 (x32、x64)
- Windows Server 2003 Enterprise Edition SP0、SP1、SP2 (x32、x64)
- Windows Server 2003 Web Edition SP0、SP1
- Windows XP Professional SP0、SP1、SP2 (x32、x64)
- Windows XP Home SP0、SP1、SP2
- Windows 2000 Professional Edition

Parallels Compressor の操作

- Windows 2000 Server
- Windows 2000 Advanced Server

このセクションでは、Parallels Compressor のすべてのオプションについて詳しく説明します。

実行モード

Parallels Compressor には、2 つの実行モードがあります。

- **自動:** デフォルトの実行モードです。自動モードでは、Compressor は、ユーザーに確認操作を求めない "高速圧縮" を実行します。
- **手動:** Compressor は、ウィザードとして実行されるので、さまざまな圧縮オプションを選択できます。

Compressor が起動されると、自動モードで実行されるまでの残り時間を示す時間インジケータを含むダイアログ ボックスが表示されます。

Compressor を "自動" モードで実行する場合は、何もせずにそのまま待ちます。

Compressor を "手動" モードで実行するには、タイムアウトする前に Esc キーを押すか、**[手動モード]** ボタンをクリックします。

Compressor のコマンド ライン キー

現在のバージョンの Parallels Compressor には、次のキーがあります。

- **/A:** プログラムを自動実行モードで開始します。
- **/G <cmdline>:** Parallels Compressor によって使用されるツールの代わりに、サードパーティのディスク最適化ツールを開始します。<cmdline> は、そのツールのパスと名前です。
- **/H:** 利用可能なキーの一覧を含む [ヘルプ] パネルを開きます。
- **/S:** Compressor を完全な非対話モード ("サイレント モード") で開きます。

コマンド ライン フォーマットについての注意事項

- プログラム名とキーは、スペースで区切ります。
- **<cmdline>** 内でスペースを使用する場合は、次のように二重引用符で式を囲みます。

```
ParallelsCompressor /G"C:\Program Files\...\defrag.exe"
```

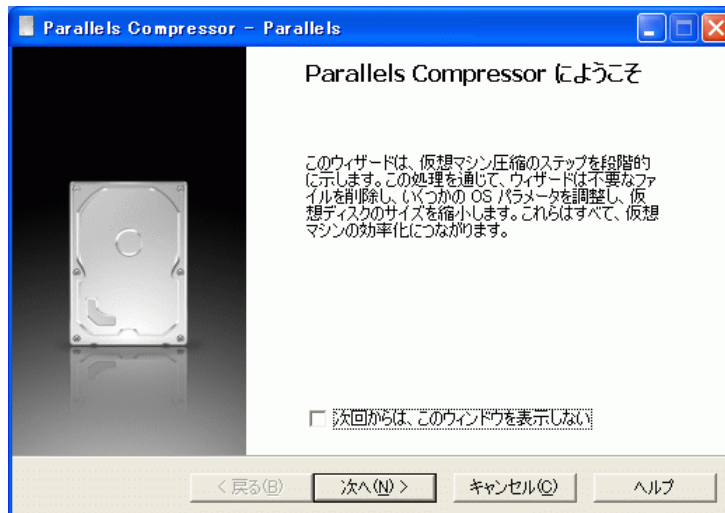
上の例のように、キーとそのパラメータの間にはスペースを入れません。

Parallels Compressor を実行するには:

- "自動" モードの場合は、何もせずに、タイムアウトするまで待ちます。
- "手動" モードの場合は、タイムアウトする前に、Esc キーを押すか **[手動モード]** ボタンをクリックします。

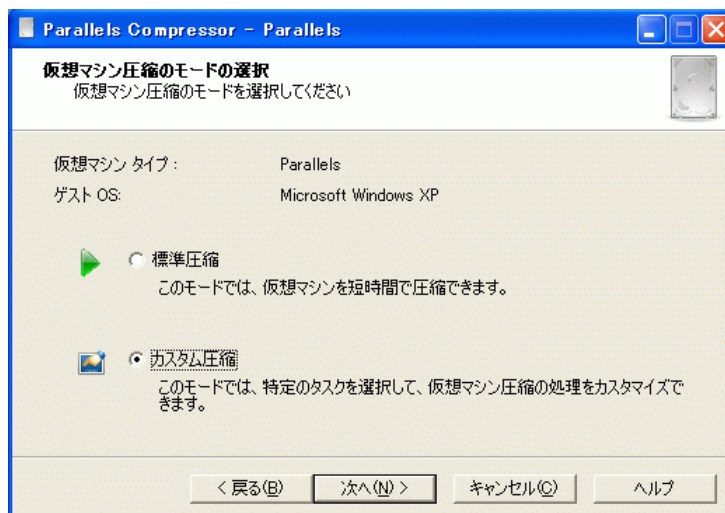
"手動" モードでは、Compressor はウィザードとして開始されます。

- 1 ウィザードで、**[ようこそ]** ダイアログ ボックスが表示されます。次回ウィザードを実行するとき **[ようこそ]** ダイアログ ボックスをスキップするには、**[次回はイントロダクションをスキップする]** チェック ボックスをオンにします。**[次へ]** をクリックして続行します。



- 2 仮想マシンの圧縮モードの選択: この手順では、ウィザードによって、ゲストオペレーティング システムの種類が検出され、**[高速圧縮]** と **[詳細圧縮]** のいずれかを選択するように指示されます。**[高速圧縮]** を選択すると、デフォルトの圧縮オプションがウィザードで使用されます。

[詳細圧縮] を選択すると、特定の圧縮オプションを選択できます。



- 3 **論理ディスクの選択:** ウィザードによって、仮想マシンで利用できる仮想ディスクが特定されます。サポートされている仮想ディスクの種類がわからない場合は、「論理ディスクの選択 『p. 18』」を参照してください。サポートされていない種類のディスクは、選択しても圧縮されません。

チェック ボックスを使用して 1 つ以上のディスクを選択します。**[次へ]** をクリックします。手順 3 で **[高速圧縮]** を選択した場合は、手順 4 および手順 5 をスキップします。



- 4 **[圧縮レベルの選択]** ダイアログ ボックスで、圧縮レベル 『p. 19』を選択します。次の 3 つのレベルがあります: "高"、"中"、"低"。

レベルを選択するには、カーソルをレベル スライダに置いて、スライダを目的のレベルまでスムーズに動かすか、またはレベルをクリックし続けるとスライダが "高" から移動するので目的のレベルに移動するまでクリックします。レベルごとに、特定のタスクがデフォルトで提示されていますが、実行するタスクのチェック ボックスをオンにしたり、実行しないタスクのチェック ボックスをオフにしたりすることもできます。また、**[すべて選択]** ボタンをクリックしてすべてのタスクを選択したり、**[すべてクリア]** をクリックしてすべてのチェック ボックスをオフにしたりすることもできます。**[デフォルト値に設定]** をクリックすると、選択したレベルのデフォルトのタスク選択を復元できます。

[仮想ディスクのコンパクト化] タスクのチェック ボックスは常に無効になっています。

[圧縮] ボタンをクリックします。ウィザードにより、選択したタスクの実行が開始されます。操作の進行状況も確認できます。

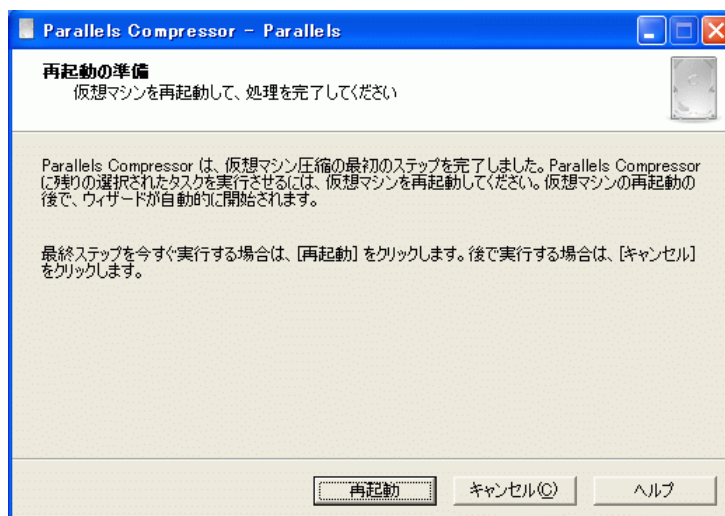
[ページ ファイルの切り捨て] オプションのチェック ボックスをオフにした場合、ウィザードで手順 5 および手順 6 がスキップされます。



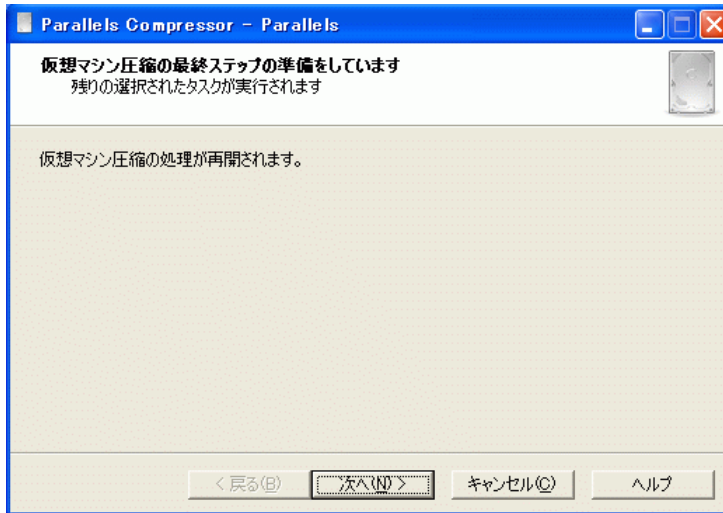
- 5 再起動の準備: 前の手順で選択したタスクによっては、コンピュータの再起動が要求されることがあります。

[次へ] をクリックして、仮想マシンを再スタートします。

[キャンセル] をクリックした場合、仮想マシンの圧縮処理は、次回仮想マシンをスタートしたときに自動的に再開されます。

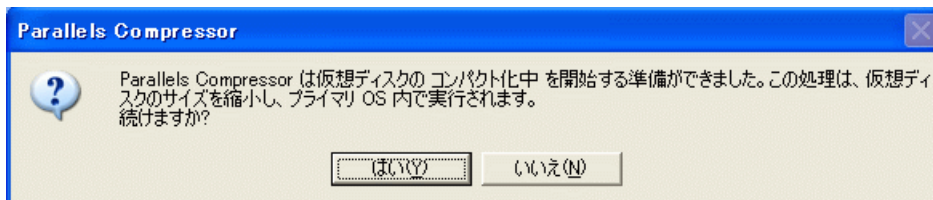


- 6 仮想マシンが再スタートされると、ウィザードではタスクの実行を再開する準備が完了します。[次へ] をクリックします。



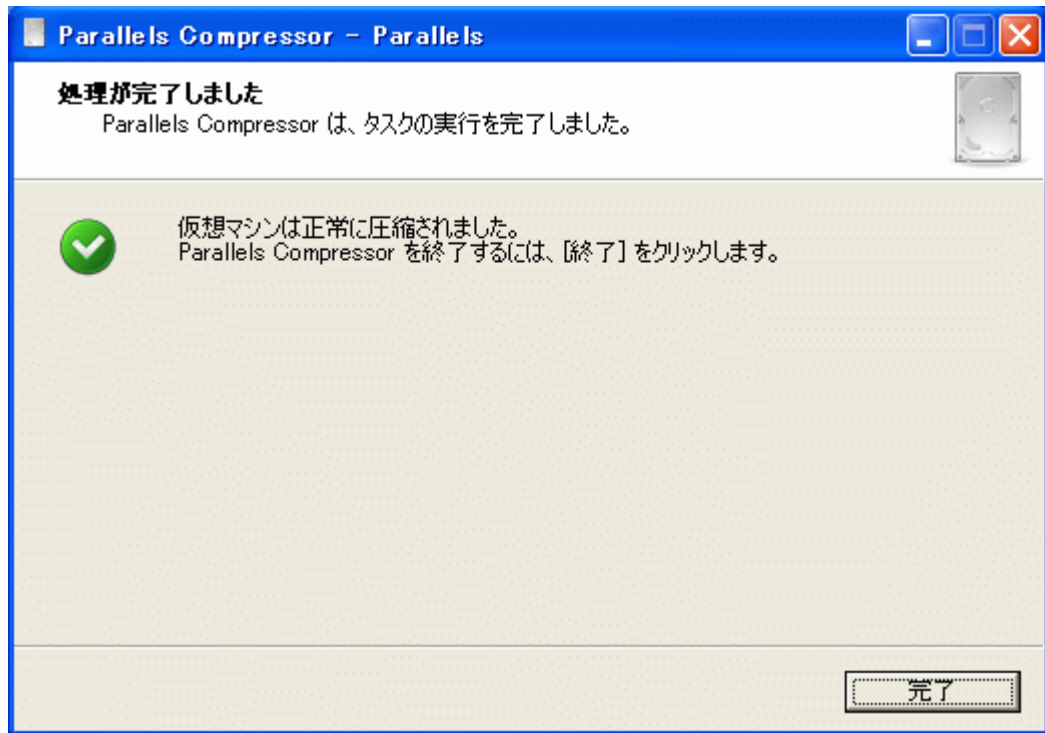
- 7 ウィザードの次のダイアログ ボックスで、操作の進行状況を確認できます。[高速圧縮] を選択していた場合は、ウィザードによってディスクのコンパクト化が実行されます。ユーザーがこの操作の確認を求められることはありません。
- 8 ディスクのコンパクト化は、圧縮の最後のステップです。

操作を実行するには、[はい] をクリックします。ディスクのコンパクト化をスキップするには、[いいえ] をクリックします。



- 9 これで、仮想マシンの圧縮は完了です。

仮想マシンは圧縮され、その拡張可能ディスクのサイズは大幅に削減されます。[完了] をクリックして Parallels Compressor を終了します。



高速モードと詳細モード

手動モードで起動した場合、Parallels Compressor によって、仮想マシンを処理する圧縮モードを選択するように指示されます。

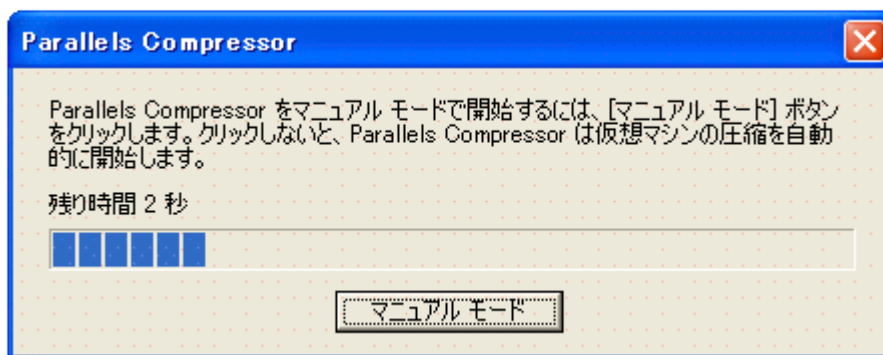
- **高速圧縮:** すべてのユーザーに推奨する設定です。このモードでは、圧縮は "高" レベルで実行されます。これは、デフォルトでスキップされる **【ドライバ キャッシュのクリーン アップ】** を除くすべての圧縮タスクが実行されることを意味します。高速圧縮中は、1 つの仮想ディスク (現在のシステム ディスク) のみが処理されます。
- **詳細圧縮:** これは、上級ユーザーのみにお勧めします。詳細圧縮モードでは、ウィザードで、特定の論理ディスク、圧縮レベル、および実行するタスクのオプションを選択できます。

自動モードでの圧縮

Parallels Compressor には、次の実行モードがあります。

- "自動" はデフォルトのモードです。このモードでは、Compressor は、デフォルトの圧縮オプションを使用します。処理されるのは 1 つの仮想システム ディスクだけです (仮想マシンに複数のシステム ディスクがある場合は、現在のシステム ディスクが圧縮されます)。
- "手動" では、Compressor は、仮想マシンの圧縮オプションを選択できるウィザードとして実行されます。

Compressor を含む ISO イメージ ファイルが仮想マシンの CD/DVD-ROM に接続されると、プログラムが開始され、時間インジケータを含むダイアログ ボックスが表示されます。時間インジケータには、Compressor が自動モードで実行されるまでの残り時間が表示されます (約 10 秒でタイムアウトします)。



Compressor を実行するには:

- "自動" モードの場合は、何もせずに、タイムアウトするまで待ちます。
- "手動" モードの場合は、タイムアウトする前に、Esc キーを押すか **[手動モード]** ボタンをクリックします。

警告: 圧縮プロセスが完了するまで、Parallels Compressor ISO ファイルをマシンの CD/DVD-ROM から切断しないでください。

処理中に、Compressor は複数のダイアログ ボックスを表示します。これらは情報提供に使用されますが、いつでも **[キャンセル]** をクリックして Compressor を停止したり、**[ヘルプ]** ボタンをクリックして必要な情報を取得したりできます。

- 1 Compressor は、実行中のタスクの内容を通知する **[進行中の処理]** ダイアログ ボックスを表示します。



論理ディスクの選択

仮想マシンには、複数の仮想ディスクがあり、そのいくつかはパーティション化されていることがあります。"詳細" モードでは、圧縮する論理ディスクを 1 つ以上選択できます。

[論理ディスクの選択] ダイアログ ボックスに、仮想マシンのボリュームの一覧が表示されます。

次の仮想マシンのディスクは、Parallels Compressor では処理できません。

- 容量固定フォーマットの仮想ディスク
- スナップショットを持つ仮想ディスク
- アンドゥ ディスク

仮想マシンの圧縮は、2 つのステップで実行されます。












- 1 ディスク クリーニング: 不要なファイルの削除とディスクの最適化。
- 2 ディスク コンパクト化: ホスト オペレーティング システムで実行される仮想ディスク ファイルのサイズの削減。

選択したすべてのディスクを圧縮できない場合は、圧縮を実行できず中止したことを通知するメッセージが表示されます。選択した仮想ディスクを少なくとも 1 つ圧縮できる場合は、Compressor でそれらが処理されます。







圧縮レベル




Parallels Compressor は、次の 3 つの圧縮レベルをサポートします:"高"、"中"、"低"。それぞれのレベルでは、特定のタスクが実行されます。ウィザードには、すべてのタスクの一覧が表示されます。

すべてのタスクの一覧には、次のタスクが含まれます。

-  ページ ファイルの切り捨て (システム ページ ファイルを小さいサイズで再作成します)
-  一時システム ファイルのクリーン アップ (処理を高速化するために、システムによって使用される一時ファイルを削除します)
-  システム キャッシュのクリーン アップ (性能を高めるためにシステムによってディスクに格納された一時データを削除します)
-  ごみ箱を空にする (ごみ箱からファイルを永続的に削除します)
-  一時インターネット ファイルのクリーン アップ (Internet Explorer キャッシュをクリーン アップし、Cookie、履歴、アドレス バー、一時ファイルを削除します)
-  休止状態のファイルの無効化 (仮想マシンの電源をオフにするときに、仮想マシン メモリを格納している休止状態のファイルを無効にします)
-  仮想ディスクのコンパクト化 (ホスト (プライマリ) オペレーティング システムのディスクのサイズを削減します)
-  一時セットアップ ファイルのクリーン アップ (MS Office およびその他のプログラムによって使用されたインストール ファイルを削除します)
-  システム メディア ファイルのクリーン アップ (Media Player によって使用された一時ファイルを削除します)
-  ドライバ キャッシュのクリーン アップ (最もよく使用されるドライバのキャッシュを空にします。新しいハードウェアをインストールする場合は、このチェックボックスをオフにします)
-  システム復元情報のクリーン アップ (最後に正常に行われたシステムのロードに関連するデータを削除します)

デフォルトでは、圧縮レベルにタスクが次のように割り当てられています。

- 高レベル:一覧内のすべてのタスク (, ,  でマークされているタスク)
- 中レベル: および  でマークされているすべてのタスク
- 低レベル: でマークされているタスクのみ

圧縮レベルは、次の 3 つの目盛りがあるスライダを使って選択できます:"高"、"中"、"低"。一覧内の各タスクにはチェック ボックスがあります。スライダが "高" の位置にある場合は、すべてのタスクが選択されます。スライダを "高" から "中" の位置に移動すると、 でマークされているタスクのチェック ボックスがオフになり、スライダを "低" の位置に移動すると、 でマークされているタスクのチェック ボックスがオフになり、"低" レベル () での実行が推奨されているタスクのみがオンになります。

また、任意のレベルを選択した状態で、タスクに対応するチェック ボックスをオンまたはオフにすることによって、タスクを追加したり削除したりできます。選択したレベルのデフォルトのタスク選択を復元するには、**[デフォルト値に設定]** ボタンをクリックします。

注意:[仮想ディスクのコンパクト化] タスクのチェック ボックスをオフにすることはできません。このタスクは、各レベルで必須です。

高速圧縮モード (または自動モード) では、すべてのタスクが "高" レベルで推奨されているとおりに実行されます。ただし、**[ドライバ キャッシュのクリーン アップ]** だけはスキップされます。

詳細圧縮モードでは、ユーザーがタスクを自由に組み合わせて選択できます。

ディスクのさらなる削減

Compressor を使用して仮想マシンを処理した後、格納のために仮想マシンのサイズをさらに削減できます。

仮想マシンのハード ディスク ファイルを共有する (つまり別のコンピュータにコピーするか、それをネットワークを介して転送する) 場合は、サイズが小さいほど望ましくなります。Compressor の処理が完了したら、仮想マシンの電源をオフにします。圧縮が完了した後に仮想マシンを実行すると、そのシステム ディスク ファイルのサイズが増加します (仮想マシンを実行するとシステム ページ ファイルが増加します)。仮想ハード ディスクはコンピュータ上のファイルなので、それを WinZip または WinRAR など任意のプログラムを使用してアーカイブできます。サイズは 50% 以上削減されることがありますので CD または DVD に収まります。

仮想マシンの操作を続行する場合は、アーカイブからファイルを抽出します。

索引

P

- Parallels Compressor について - 5
- Parallels Compressor のアンインストール - 9
- Parallels Compressor のインストール - 8
- Parallels Compressor の操作 - 9

あ

- イントロダクション - 4

か

- ゲスト OS のシステム要件 - 9
- このガイドについて - 5
- このガイドの構成 - 6
- ご意見の送付先 - 8

さ

- スタートアップ - 8

た

- ディスクのさらなる削減 - 20

は

- ヘルプ一覧 - 7

漢字

- 圧縮レベル - 19
- 高速モードと詳細モード - 15
- 自動モードでの圧縮 - 16
- 実行モード - 10
- 表記規則 - 6
- 論理ディスクの選択 - 18